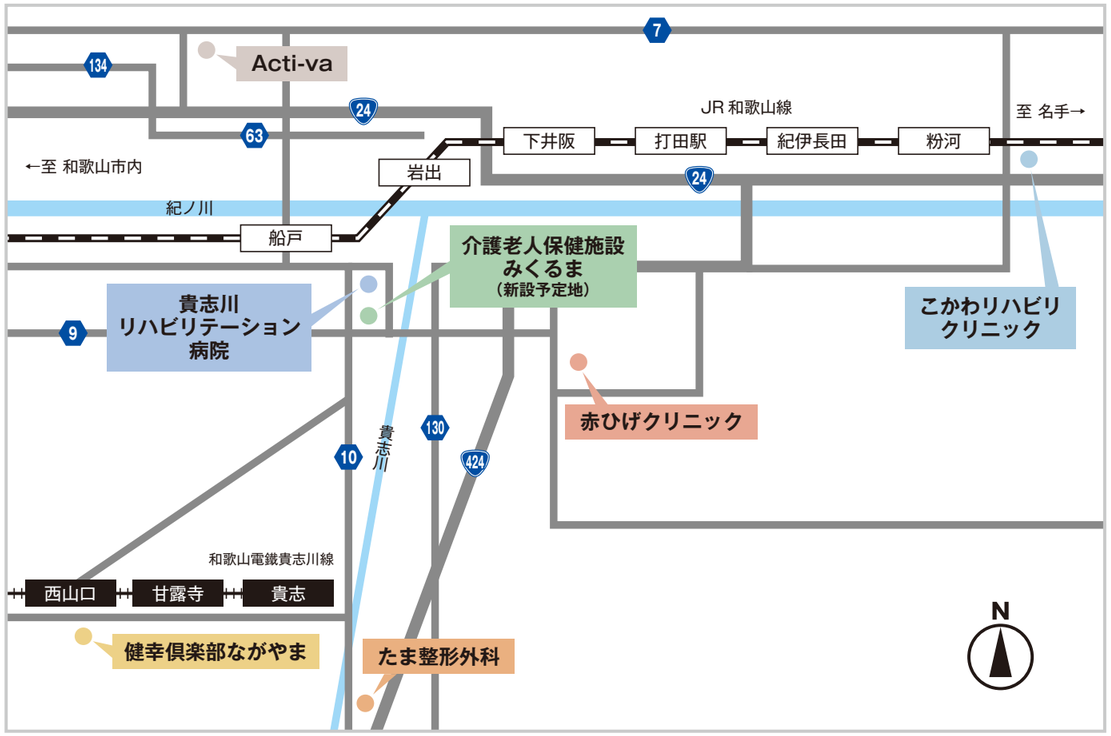


社会医療法人三車会
貴志川リハビリテーション病院
〒640-0401　和歌山県紀の川市貴志川町丸栖 1423-3
TEL.0736-64-0061

関連施設

・在宅総合ケアセンター　赤ひげクリニック
〒649-6123 和歌山県紀の川市桃山町神田 378　TEL：0736-66-9003

・たま整形外科
〒640-0424　和歌山県紀の川市貴志川町井口 974-4　TEL:0736-65-2700

・こかわリハビリクリニック
〒649-6531　和歌山県紀の川市粉河 451-9　TEL：0736-67-7818

・Acti-va
〒649-6202　和歌山県岩出市根来 823-1　TEL:0736-69-0051

・健幸倶楽部ながやま
〒649-1443　和歌山県紀の川市貴志川町長山 583-1　TEL：0736-86-0000

・介護老人保健施設みくるま（12 月 OPEN）
〒640-0401　和歌山県紀の川市貴志川町丸栖 936-3　TEL：0736-64-2800

Homepage　Instagram

社会医療法人三車会広報誌

みくるま通信

Social medical corporation mikurumakai

2022 Fall
33
TAKE FREE

Photographer：古川 結子（リハビリテーション部）
Shooting location：生石高原（紀美野町）
Photo title: ススキ



CONTENTS

ばね指で困っています
谷口 泰徳 医師

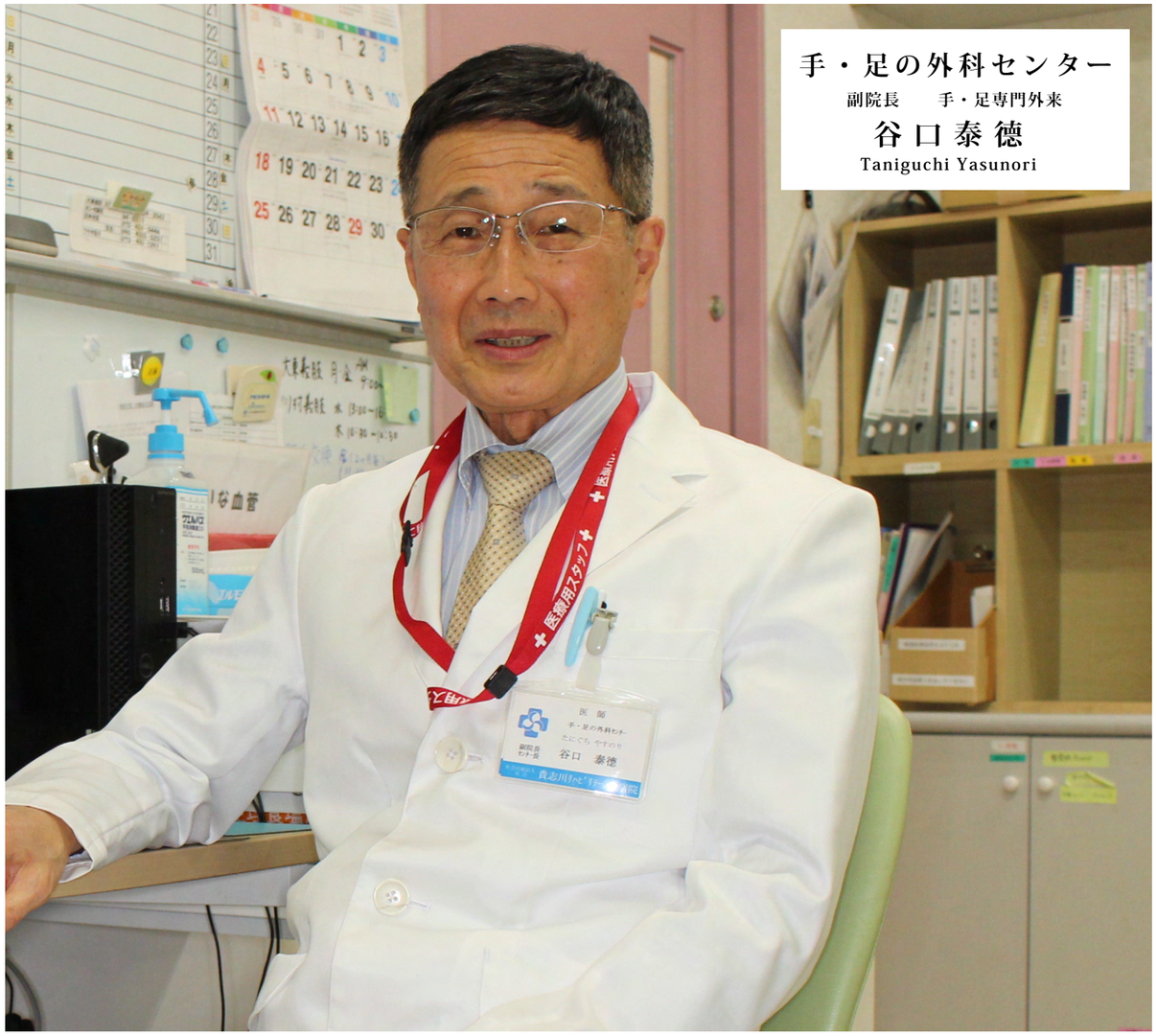
国境を超えて
看護部

就労支援の取り組み
リハビリテーション部

入所仮受付開始
介護老人保健施設みくるま



三車会公式キャラクター
みくまくん



手・足の外科センター

副院長　　手・足専門外来

谷口泰徳

Taniguchi Yasunori

プロフィール

【診察科目】　手・足専門外来

【専門分野】　手・足疾患の治療
末梢神経の手術
顕微鏡による微小外科手術
四肢の形成再建外科手術

【診察日時】　毎週水曜日 午前・午後 （予約制）
毎週木曜日 午後（予約制）

【資格】　医学博士
医師臨床研修指導医
日本手外科学会認定手外科専門医
手外科指導医
日本整形外科学会認定整形外科専門医
整形外科研修指導医
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医
日本リハビリテーション学会認定臨床医
義肢装具等適合判定医
日本ベストドクターズ選出

「ばね指で困っています。」
ばね指について先生教えてください。

なぜばね指と言うのですか？

ばね指とは、指を曲げる腱と腱鞘との間で通過障害が起こり、指の付け根に腫れや痛みがでる腱鞘炎のことです。腱鞘炎になると指を伸ばす時に引っかかりと強い痛みが生じるので、ばね指といわれます。

痛みが強いのですが、何が原因で発症するのですか？

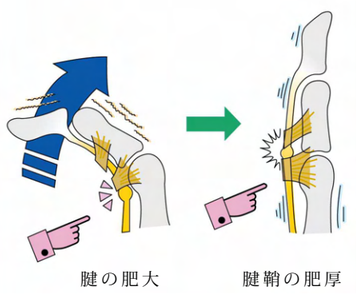
ばね指は更年期以降の中高年女性に多く、手を使う機会が多い男性もばね指になりやすいです。最近はパソコンやスマホで指を過度に使い過ぎて、ばね指になる人が増えています。糖尿病、透析患者さんにも発生し重症になる傾向があります。糖尿病や生活習慣を改善し、ばね指にならないように注意してください。

悪化することはありますか？

症状は親指や中指に多くみられますが、両手の指がばね指になる方や一つの指が治っても、他の指に繰り返し起こる人もいます。さらに悪化すると指が動かなくなる「ロッキング指」になることもあります。

どのように治療するのですか？

治療は手指の安静とステロイド剤の注射を行います。通常は２～３回の注射で改善します。しかし、注射をしても再発する場合は手術が必要となります。ステロイド注射を複数回繰り返すと、指を曲げる腱が弱くなって切れる恐れがあります。そのため注射を２～３回しても治らない時は、手術が勧められます。手術は局所麻酔で小さな皮膚切開で腱鞘を切開します。手術は５～６分程の時間で終わります。手術を受けた後は自分で車を運転して帰宅できます。確実に腱鞘切開が行われておれば、ばね指の再発はありません。腱鞘の不十分な切開などで、術後経過が良くない患者さんもおられますので、ばね指になれば治療について手外科専門医にご相談ください。



腱が太くなったり、腱鞘が腫れたりすることにより、ばね現象が生じる。

（日本手外科学会 HP「手外科シリーズ」より引用）



看護部

国境を越えて

看護部　ケアアシスタント

韓　楽喜

ハン　ラシ

中国　山東省出身

看護部　ケアアシスタント

劉　子卉

リュー　ズーホイ

中国　山東省出身

国境を越えて日本での看護師免許取得を目指す2人。それぞれの看護への想いと決意。

看護師を目指したきっかけは？

韓　最初、看護師になる事を選んだのはとても安定した仕事だからでした。この仕事は人を救うことができる仕事です。特に新型コロナウイルスが流行し、看護師の仕事が大変重要になりました。また、日本での看護師免許取得を目指したきっかけは、自分はもともと日本の文化が好きだからです。幼い時から日本のアニメやドラマが好きでした。例えばナルト、スラムダンク、半沢直樹などです。中国でも強い影響力を持っています。だから学校で日本と協力するプロジェクトがあることを知ってすぐに申し込みました。

劉　中国で看護師は白衣の天使と呼ばれています。私は子供の時から看護師になりたいと思っていました。親戚は皆医療従事者なので看護師になりたいという気持ちが強いです。そして二〇一七年に中国の看護資格を取得しました。もっと看護の知識を学ぶために、私は山東医学高等専科学校に進学し、この度、日本に来ることができて、とても嬉しいです。

日本に来て訪れた場所や訪れたい場所は？

韓　私は京都の建造物、奈良の鹿、白浜の海を見てとても好きになりました。奈良で鰻を食べたのですがこれが絶品で、一番好きな食べ物になりました。これから冬になれば北海道でスキーをしてみたいです。

劉　私もスキーヤーの天国と言われている冬の北海道に行ってみたいですね。粉雪を見て、ラーメンを食べて、温泉にも入りたいです。ラブレターという映画があるのですが、そのロケ地で映画の中にあったロマンチックで美しい北海道を感じてみたいです。

学生生活の事と今後の決意を教えて下さい！

韓　中国の私の学校は大きく、学生は三千人以上います。皆一生懸命勉強しています。だから、中国や世界各国の病院で仕事と勉強を続けている先輩たちがたくさんいます。私も彼らのように優秀な人になりたいです。

劉　私の学校には渉外協力プログラムがあり、私は日本にとても興味を持っていたことと、若いし挑戦すべきだと思いプログラムに参加しました。そしてもっと看護の知識を深めるためにこれからも学び、日本の看護師になることが目標です。









和歌山で学び、日本で看護師になって日本の看護や日中友好に貢献したい。

実際に働いて学ぶ、ここ和歌山の印象は？

韓　今年の四月に私は和歌山に来ました。和歌山は本当に綺麗だと思います。山と川と海があります。高野山と白浜と熊野古道はとても有名な所です。私は和歌山がとても好きです。

劉　今年の四月、和歌山に着いた時、ここは本当にすばらしい街であると思いました。海もあり、山もあり古い建物もあります。街の人も優しいです。本当に文化がある、温かい街だと思います。

当院で働いて笑えるエピソードや困った事はありましたか？

韓　多くの困難や面白いことがありました。和歌山弁を理解するのが少し難しかったです。「おおきに」が理解できず、ネットで調べても中国の翻訳にもありません。後に日本語学校の先生に聞くと「ありがとう」という意味であることを知りました。とても面白い出来事でした。

劉　私も病院の患者さんが和歌山弁で話されているのを理解するのに困りました。「おおきに」や「あかん」は翻訳アプリでも調べる事ができません。後日、日本語学校の先生に聞いて「ありがとう」や「ダメ」と簡単な単語であると知ることができ、意味を理解することができました。

最後に将来の夢を教えてください！

韓　今、私の夢は日本で看護師になることです。将来は優秀な看護師になりたいです。自分と家族が良い生活を送ることができます。同時に他の人を助けることもできます。これは私個人の小さい夢です。今年の九月二九日は日中国交正常化五〇周年記念日です。もっと私の大きい夢は日中友好に貢献することです。日本でもっと多くの知識を学び同時に日本の看護事業に少しでも貢献したいです。

劉　将来、私は日本語専門学校で一生懸命勉強して、日本語能力試験のＮＩに合格すること。そして、日本の看護師の資格を取得して実践の中で、もっと日本の看護の知識を学んで、一人の優秀な看護師になりたいです。看護師という職業を愛し、看護の為に一生を捧げていきたいです。



再びいつもの暮らしを

就労支援

リハビリテーション部

家族や友人と笑ったり、毎日元気に仕事をしたりといつもの暮らしを
送る人たちがある日突然「脳卒中」で倒れ、いつもの暮らしが奪われ、
少なからず、障害を抱えて生活を送ることに。
そんな患者様に「再びいつもの暮らしを送って頂きたい」
という想いで、当院では就労支援（職業リハビリ）を行っています。

リハビリテーション部　科長

理学療法士

両立支援コーディネーター

田津原 佑介

Taduhara Yusuke





就労支援が必要な理由

若い世代の脳卒中患者様は「比較的に回復しやすい」「約７割の方が自立した生活を獲得できる」「在宅復帰は達成できることが多い」という特徴があります。しかし、その反面「自立してもお金がないと生活できない」「残りの人生の生きがいが・・」「介護サービスが適応でない」という課題もあります。つまり、在宅復帰を果たしても、生活（いつもの暮らし）を送ることは困難であります。身体的な機能を回復させることはもちろん、患者様に再びいつもの暮らしを送って頂くために早い段階から専門性を活かして就労を支援する取り組みが必要になります。当院では多職種連携して就労支援チームを発足し、復職を目指して職業リハビリを行っています。

職業リハビリと私たちの想い

職業リハビリは患者様に１人ひとりの想いや希望を聞いたうえで、希望の職業に近い形でリハビリを行います。例えば、機器整備の仕事に復帰されたい方に対しては、実際に工具を使って組み立て作業を行って頂いたり、事務仕事に復帰されたい方に対しては、パソコン作業やコピー機の作業など行って頂いたり、よりその人の仕事に近い動作を行うことで専門性を持って退院後の暮らしに沿う支援を行うことができます。人生100年時代、私たちにもあるように患者様にもそれぞれの暮らしがあります。患者様が自立する事だけでなく、毎日が安心した暮らしとなるように。１人でも多くの方に再びいつもの暮らしを送って頂きたいという想いでこれからも取り組んで参りたいと思います。

12月 NEW OPEN
介護老人保健施設みくるま
入所仮受付開始

お問合せ

介護老人保健施設みくるま準備室
(貴志川リハビリテーション病院内)
TEL：0736-64-2800　FAX：0736-64-2820
Mail:rouken.mikuruma@mikurumakai.or.jp



12月の介護老人保健施設みくるまのOPENに伴い、「入所仮受付」を実施しています。詳細は上記問い合わせ先までお気軽にご相談ください。介護老人保健施設とは、介護を必要とする高齢者の自立を支援し、家庭への復帰を目指すために、医師による医学的管理のもと、看護・介護といったケアはもとより、理学療法士等によるリハビリテーション、また管理栄養士等による栄養管理・食事・入浴などの日常サービスまで併せて提供する施設です。多職種が協働でご利用者様ひとりひとりの状態や問題点の共通認識を持ち、目標に合わせたサービスの提供を目指します。私ども社会医療法人三車会の「介護老人保健施設みくるま」は在宅ケアの拠点となることを目指して、ご利用者・ご家族の皆様が快適に自分らしい日常生活を送れるよう支援致します。